

生鮮食品の原産地表示状況調査結果

北海道環境生活部くらし安全局消費者安全課

1 調査方法

- (1) 調査期間 令和6年(2024年)5月1日～6月30日
(2) 調査者 消費生活モニター
(3) 対象品目 生鮮食品(肉類、野菜・果物、水産物)
(4) 対象店舗 百貨店、総合スーパー(スーパーのうち衣食住全般の商品を扱う店)、
スーパー(主に食料品のみを扱う店)、専門店(生鮮食品を専門に扱う店)
(5) 調査店舗数 肉類/195店舗、野菜・果物/194店舗、水産物/195店舗
(6) 調査内容 原産地表示の程度

2 調査結果

(1) 原産地の表示状況

【肉類】

調査を行った195店舗のうち、販売している肉類の全部に原産地を表示している店舗の割合は80.5%(157店舗)、ほとんどに表示している店舗は18.5%(36店舗)、半分程度に表示している店舗は1.0%(2店舗)であった。

【野菜・果物】

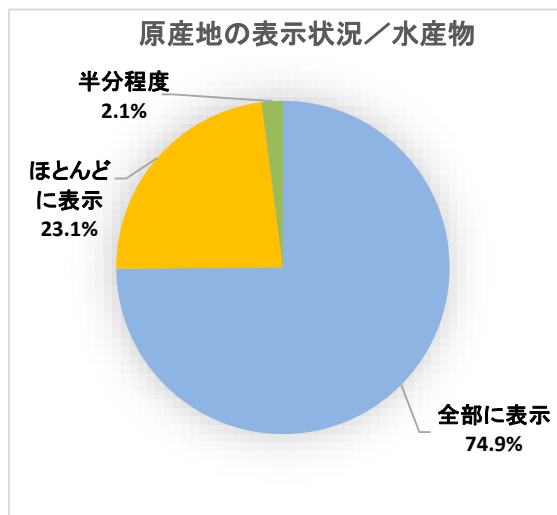
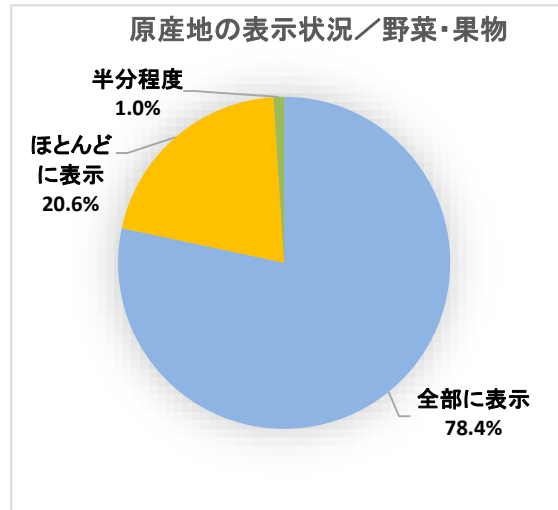
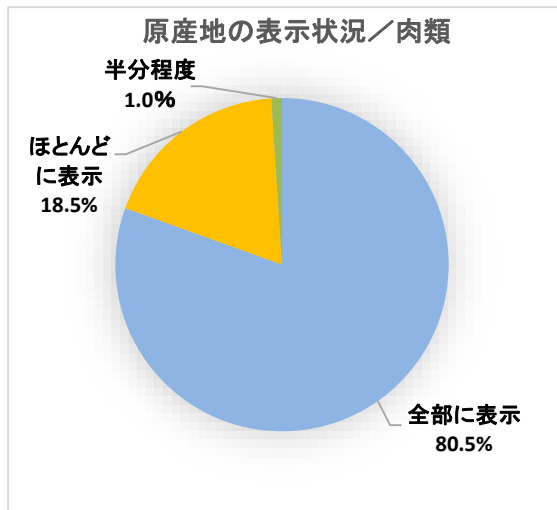
調査を行った194店舗のうち、販売している野菜・果物の全部に原産地を表示している店舗の割合は78.4%(152店舗)、ほとんどに表示している店舗は20.6%(40店舗)、半分程度に表示している店舗は1.0%(2店舗)であった。

【水産物】

調査を行った195店舗のうち、販売している水産物の全部に原産地を表示している店舗の割合は74.9%(146店舗)、ほとんどに表示している店舗は23.1%(45店舗)、半分程度に表示している店舗は2.1%(4店舗)であった。

表示の程度	肉類		野菜・果物		水産物	
	店舗数	割合	店舗数	割合	店舗数	割合
全部に表示(100%)	157	80.5%	152	78.4%	146	74.9%
ほとんどに表示(80～99%)	36	18.5%	40	20.6%	45	23.1%
半分程度に表示(40～79%)	2	1.0%	2	1.0%	4	2.1%
一部に表示(1～39%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
表示がない(0%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	195	100.0%	194	100.0%	195	100.0%

※ 本調査結果の割合は、全て四捨五入して表示しています。



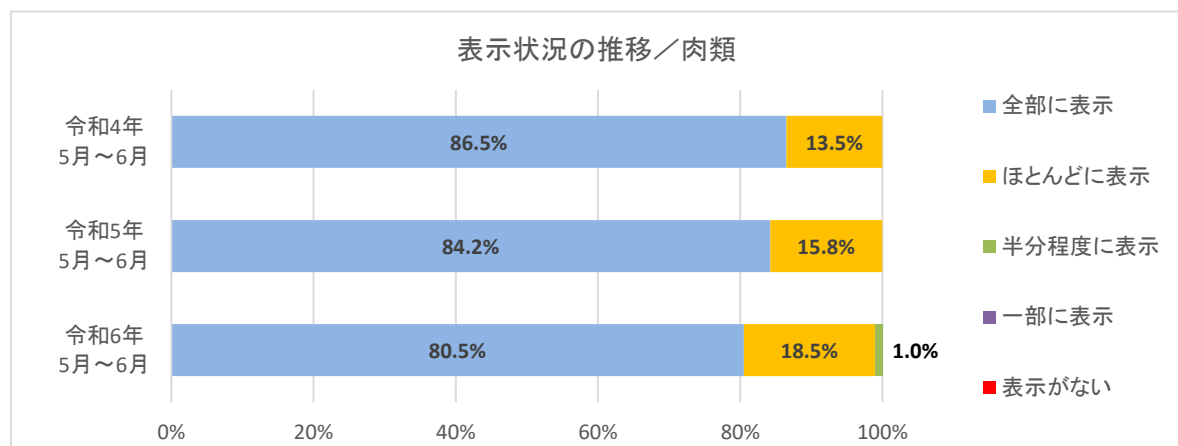
(2) 表示状況の推移(直近3カ年)

【肉類】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示」は84.2%→80.5%と3.7ポイント減少し、「ほとんどに表示」は15.8%→18.5%と2.7ポイント増加し、「半分程度に表示」は0.0%→1.0%と1.0ポイント増加した。

表示の程度が8割以上(「全部に表示」または「ほとんどに表示」)の店舗は100%→99.0%と減少した。

表示の程度が4割以下(「一部に表示」または「表示がない」)の店舗は0.0%のままであった。

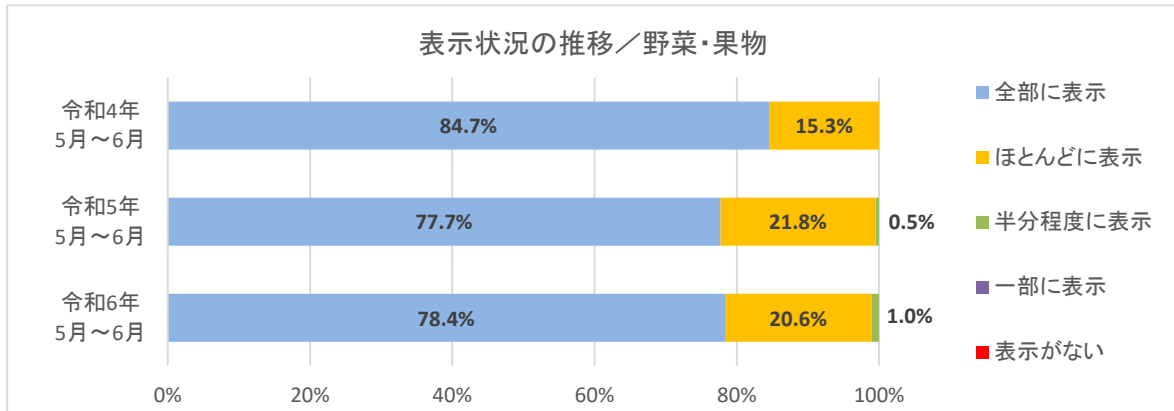


【 野菜・果物 】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示」は77.7%→78.4%と0.7ポイント増加し、「ほとんどに表示」は21.8%→20.6%と1.2ポイント減少し、「半分程度に表示」は0.5%→1.0%と0.5ポイント増加した。

表示の程度が8割以上（「全部に表示」または「ほとんどに表示」）の店舗は99.5%→99.0%と0.5ポイント減少した。

表示の程度が4割以下（「一部に表示」または「表示がない」）の店舗は0.0%のままであった。



【 水産物 】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示」は80.2%→74.9%と5.3ポイント減少し、「ほとんどに表示」が19.3%→23.1%と3.8ポイント増加し、「半分程度に表示」は0.5%→2.1%と1.6ポイント増加した。

表示の程度が8割以上（「全部に表示」または「ほとんどに表示」）の店舗は99.5%→98.0%と1.5ポイント減少した。

表示の程度が4割以下（「一部に表示」または「表示がない」）の店舗は0.0%のままであった。

